HSBCグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2020-03(限定追加型)

償還運用報告書（全体版）

第４期　（償還日　2024年４月30日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2020年３月31日～2024年４月30日
運用方針	主に世界各国の債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。
主要運用対象	世界各国（日本を含む）の企業等が発行する債券に投資を行います。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換および新株予約権の行使等により取得した株式に限るものとし、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年１回の決算時（毎年４月30日、休業日の場合は翌営業日）に、以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＨＳＢＣグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2020-03（限定追加型）」は、2024年４月30日に満期償還を迎えました。

ここに運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

ＨＳＢＣアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1　ＨＳＢＣビルディング
≪お問い合わせ先（投信営業本部）≫
電話番号：03-3548-5690
（営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

HSBC Asset Management

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
(設定日)	円 銭	円	%	%	%	百万円
2020年３月31日	10,000	－	－	－	－	7,854
１期(2021年４月30日)	10,488	100	5.9	102.9	－	7,092
２期(2022年５月２日)	10,313	100	△0.7	115.7	－	5,231
３期(2023年５月１日)	10,261	100	0.5	122.8	－	4,599
(償還時)	(償還価額)					
４期(2024年４月30日)	10,177.84	－	△0.8	－	－	4,312

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 設定日の基準価額は１万口当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

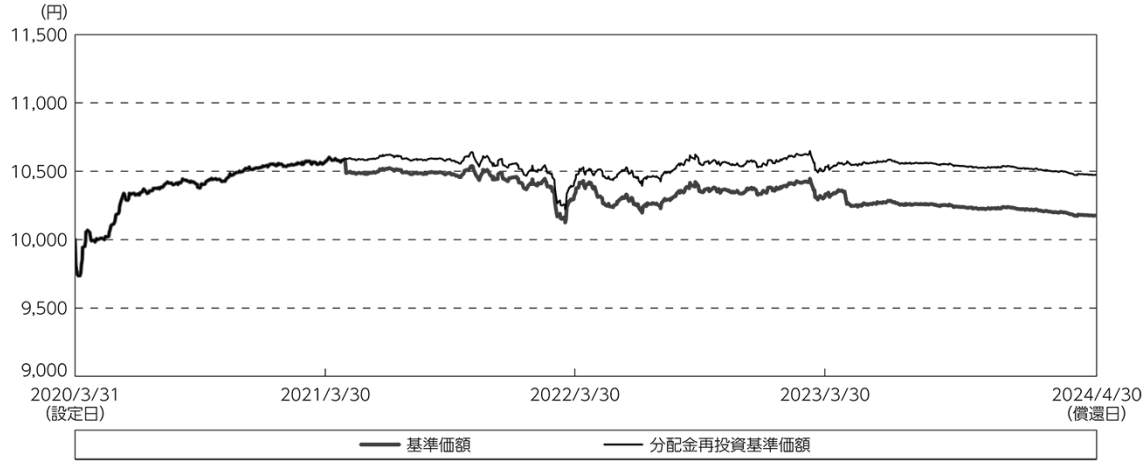
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
(期首)	円 銭	%	%	%
2023年５月１日	10,261	－	122.8	－
５月末	10,261	0.0	126.2	－
６月末	10,284	0.2	131.1	－
７月末	10,259	△0.0	126.7	－
８月末	10,260	△0.0	132.4	－
９月末	10,254	△0.1	132.7	－
10月末	10,235	△0.3	137.4	－
11月末	10,229	△0.3	137.3	－
12月末	10,235	△0.3	132.1	－
2024年１月末	10,219	△0.4	137.2	－
２月末	10,201	△0.6	143.3	－
３月末	10,176	△0.8	－	－
(償還時)	(償還価額)			
2024年４月30日	10,177.84	△0.8	－	－

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○投資環境と運用状況

設定以来の基準価額等の推移について（設定日2020年３月31日～償還日2024年４月30日）



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

投資対象の債券から得られる利金が基準価額のプラス要因となりました。

＜下落要因＞

投資対象の債券価格の下落および為替要因（為替ヘッジなどの評価損）が基準価額のマイナス要因となりました。

投資環境について

【債券市況】

社債市場において、投資適格社債市場は信託期間を通じて下落（利回りは上昇）した一方、ハイイールド社債市場は上昇（利回りは低下）しました。投資適格社債市場では、設定日以降2021年１月初旬にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気悪化の回避に向けた米国やユーロ圏の金融緩和により上昇（利回りは低下）基調となりました。しかし、主要国のインフレ懸念を背景とした積極的な利上げから2022年10月中旬にかけて下落（利回りは上昇）基調に転じました。その後、2023年10月中旬にかけて一定範囲内で推移したのち、米国にてインフレ懸念が後退し早期利下げ期待が高まったことから同年12月下旬にかけて上昇（利回りは低下）傾向となりました。しかし、米国の市場予想を上回る経済指標やインフレ懸念再燃に伴い早期利下げ観測が後退し、満期償還日にかけては軟調な動きとなりました。ハイイールド社債市場では、設定日以降2021年７月上旬にかけて米国やユーロ圏の金融緩和により上昇（利回りは低下）基調となったのち、主要国のインフレ懸念を背景とした積極的な利上げから2022年10月中旬にかけて下落（利回りは上昇）基調に転じました。2023年10月中旬にかけては一定範囲内で推移したものの、米国の早期利下げ期待の高まり、妙味ある利回り水準を

背景に同年12月下旬にかけて上昇（利回りは低下）傾向となりました。満期償還日にかけては米国の早期利下げ観測の後退からやや軟調な値動きとなりました。

ポートフォリオについて

格付け別では投資適格社債が約83～100％、ハイイールド社債が約０～17％、国・地域別では米国社債が約41～70％、欧州社債が約９～37％、その他が約12～25％となりました。また、セクター別では、金融、一般消費材、エネルギーなどを中心とした組入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○１万口当たりの費用明細

（2023年５月２日～2024年４月30日）

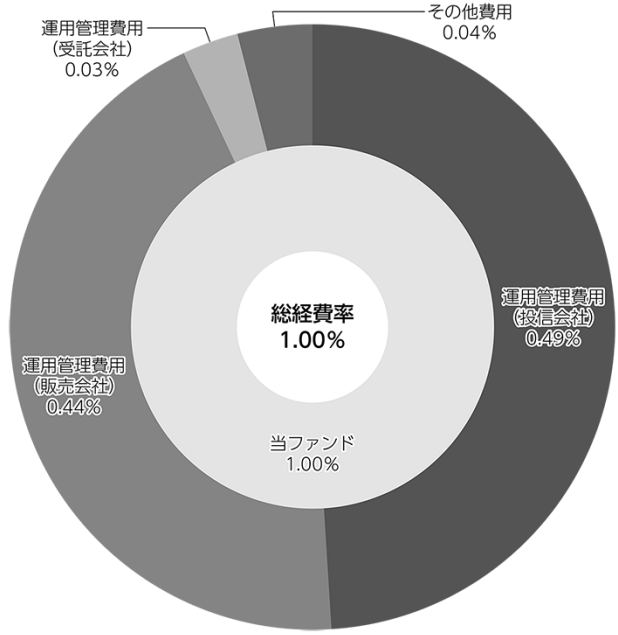
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	99	0.965	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(51)	(0.494)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（販売会社）	(45)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.038	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.021)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（監査費用）	(1)	(0.009)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(1)	(0.008)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合計	103	1.003	
期中の平均基準価額は、10,237円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.00％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年５月２日～2024年４月30日）

公社債

			買付額	売付額
			千米ドル	千米ドル
外国	米国	国債証券	50,324	－ (50,500)
		社債券（投資法人債券を含む）	15,986	3,823 (53,996)

（注）金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）単位未満は切捨て。
（注）（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注）社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2023年５月２日～2024年４月30日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2024年４月30日現在）

2024年４月30日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

（2024年４月30日現在）

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	4,333,794	100.0
投資信託財産総額	4,333,794	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2024年４月30日現在)

項　　目	償 還 時
	円
(A) 資産	4,333,794,219
コール・ローン等	4,333,793,626
未収利息	593
(B) 負債	21,279,155
未払信託報酬	20,961,640
その他未払費用	317,515
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	4,312,515,064
元本	4,237,162,957
償還差益金	75,352,107
(D) 受益権総口数	4,237,162,957口
１万口当たり償還価額(Ｃ／Ｄ)	10,177円84銭

(注) 当ファンドの期首元本額は4,482,608,317円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は245,445,360円です。
(注) また、１口当たり純資産額は1.017784円です。

○損益の状況 (2023年５月２日～2024年４月30日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	150,596,898
受取利息	149,421,227
その他収益金	1,182,058
支払利息	△ 6,387
(B) 有価証券売買損益	△ 141,819,938
売買益	1,358,839,229
売買損	△1,500,659,167
(C) 信託報酬等	△ 44,712,395
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 35,935,435
(E) 前期繰越損益金	116,066,180
(F) 追加信託差損益金	△ 4,778,638
(配当等相当額)	(527,393)
(売買損益相当額)	(△ 5,306,031)
償還差益金(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	75,352,107

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 運用の指図に関する権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、9,995,163円です。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年３月31日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年４月30日		資産総額	4,333,794,219円
区　分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	21,279,155円
				純資産総額	4,312,515,064円
受益権口数	7,854,277,555口	4,237,162,957口	△3,617,114,598口	受益権口数	4,237,162,957口
元本額	7,854,277,555円	4,237,162,957円	△3,617,114,598円	１万口当たり償還金	10,177円84銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	１万口当たり分配金	
				金額	分配率
第１期	6,762,613,860円	7,092,606,801円	10,488円	100円	1%
第２期	5,072,370,462	5,231,074,554	10,313	100	1
第３期	4,482,608,317	4,599,730,867	10,261	100	1

○償還金のお知らせ

１万口当たり償還金（税込み）	10,177円84銭

（個人の受益者に対する課税）
※償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分に20.315％（所得税15.315％、地方税５％）の源泉分離課税がかかります。
税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
税金の取扱いの詳細等については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

○お知らせ

当ファンドは、2024年４月30日をもちまして信託期間を終了し、満期償還いたしました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。